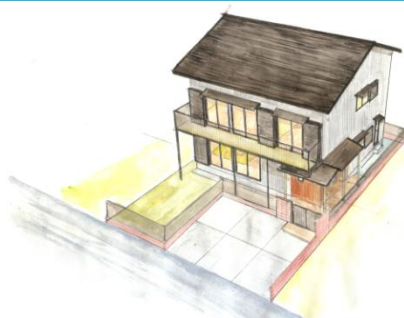


N邸

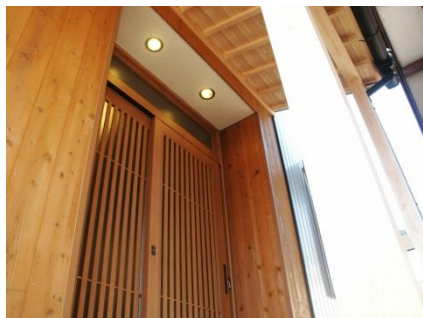
N邸が東三河で初めて建てられた通気断熱 WB 工法の家です。引き渡して、半年ほど経った頃、奥様のお母さんに会いました。そのとき、「鈴木さん、あの家は一体何？」と聞かれるので、「何かありましたか？」と聞くと「真夏に2階に上がったら、ムツとしない。娘の話だと朝夕に窓を開けて後は閉めている。どうなっているの？」と言われました。この時、本当に通気断熱 WB 工法を採用してよかったと思いました。



家の配置は、2台分の駐車スペースとなるべく広い庭がほしいという要望のため、玄関を東面から入るように配置しました。おかげで2台の駐車スペースと25㎡の庭を配置できました。

黒白のメタリックの外装と違い、玄関は桧のひさしと杉の壁。玄関の戸を少しセッパックすることで入口のスペースを広くしました。外観のメタリックな印象から、ポーチ、玄関へと入るとヒノキ材の香りがします。

ポーチ



玄関



「室内は、安くてもいいから本物を使ってほしい。」という要望かでしたので、和室のように柱を表に出しました。

桧の無垢材で作った戸。右の戸は玄関へ、左は階段ホールへの、どちらも同じデザインですが、ガラスの組み合わせが互い違いにしています。透明ガラスをあえて使ったのは、人の気配を感じるためです。ご主人がタタミでゴロ寝したいとの希望で4.5帖のタタミスペース配置し、窓の建具は障子にしました。



LDK



この家の交差点、ここから玄関、居間、キッチンへ、2階へ行けます

4.5帖のごろ寝スペース

キッチンから居間を見る

奥様が調理しながら、玄関、2階へ行く人、居間で遊ぶお子さんを見渡せるように、また、インターホンも目に入るような配置にしました。



キッチン横に可動棚付きの収納。

浴室、トイレ、洗面脱衣室



寝室

細長く見えますが、ベッド、タンス置き場を考えたプランです。奥のスペースに、小窓を挟んで両側にタンスが並びます。タンスの大きさを聞いて、スペースを確保しました。書斎には机代わりのカウンターを付けました。



書斎



カウンター付

個室

お子さんの部屋に本物をと考え、落ち着ける空間にと、ぐるっと桧の腰板が回ります。

サッシを分けたのはここで間仕切りできるようにしたためです。



収納

棚板は杉板。納戸の中に洋服掛けのスペース。上下に30着ずつ計60着かかります。



模型



完成してから、奥様から暑中見舞いをいただきました。そのときのコメントです。「素敵な家を作っていただけてどうもありがとうございました。家族一同大満足です！」